

意見表明

3月13日の予算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、5人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計予算を原案どおり可決しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです(通告順に掲載)。

1 日本共産党千葉市議会議員団

市民生活・福祉に振り向ける「住民福祉の増進を図る」予算へ(反対)

市長には、憲法改正、桜を見る会での政治不信を巡る問題等について、内閣に追随している姿勢があるからです。子ども医療費の薬局での負担について、その費用を学校のエアコンの電気代へ充当すると正当化するなど、子育て支援に逆行しています。大型開発を見直し、市民生活・福祉に振り向けて地方自治の本旨「住民福祉の増進を図る」予算にすることを求めることから、令和2年度予算案に反対します。

2 市民ネットワーク

予算の適切な配分や積極的な取り組み姿勢を評価(賛成)

未来につながる「ひとづくり」やブランドデザインを実現する「まちづくり」についての施策、さらに昨年の台風等を踏まえ、災害に強いまちづくりに向けた取り組みにも重点的に予算配分されていることを評価します。一方、扶助費の増加などで、今後も多額の財政需要が見込まれるため、引き続き市民の声を聞き、説明をしながら財政健全化や行政改革に取り組まれることを求めます。

3 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化とより豊かな暮らしの実現を(賛成)

教育環境や子育て支援の充実など、市民要望に応える施策がおおむね盛り込まれているとともに、主要債務総額は、脱・財政危機宣言の解除時を大きく下回る範囲で今後も推移していく見込みであり、一定の評価ができます。しかし、財政課題は未だあることから、財政健全化に向けた取り組みを着実に推進するとともに、市民のより豊かな暮らしの実現に向けて努力をお願いします。

4 公明党千葉市議会議員団

一定の取り組みが認められる令和2年度予算案を評価(賛成)

市民生活向上への施策やまちづくりへの取り組みも展開されていること、さらに、会派要望にも一定の取り組みが認められました。厳しい財政状況が続く中、財政健全化とともに、人口減少、超高齢社会の進展を見据え、誰もが住み続けたいと思える魅力ある千葉市を目指して、市民生活向上の施策の充実に取り組まれるよう要望します。

5 未来民主ちば

財政健全化と未来投資のバランスを確認(賛成)

財政健全化では、主要債務総額等が低減傾向であり、取り組みの成果が感じられます。施策では、昨年の台風等を教訓とした災害に強いまちづくりに向けた取り組みや小学校の水泳学習における民間スイミングスクール活用等の教育の充実など我が会派の要望もおおむね反映されていました。今後も、夢と希望を育み、生涯を託していける郷土千葉市を目指し、市政運営に当たるよう要望します。

市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた10項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

1 災害時の情報伝達手段 については、昨年の台風・大雨災害を教訓に、確実に市民に情報が伝わるよう、引き続き防災行政無線の充実を図るとともに、その他の手段についても他自治体の事例や最新技術、また、アナログ的な手法も含め、さらなる検討に取り組まれない。

2 幕張新都心 については、当局において、「幕張新都心将来ビジョン」を策定予定であり、海浜病院の移転も計画されているものの、いまだ多くの土地を保有する県との連携が不十分である場面も見受けられることから、本市施策へのより一層の協力を県に強く働きかけ、本市主導のもと、国家戦略特区の活用とあわせ、さらなる活性化を図られたい。

3 受動喫煙対策 については、条例施行に伴い対策を推進する一方で、新たに屋外喫煙所が設置される状況に鑑み、喫煙率の低下に資する施策展開に取り組まれるとともに、喫煙による健康被害の危険性について積極的な周知啓発に努めるなど、全庁一体的な喫煙防止対策に向けて、さらなる施策の充実に取り組まれない。



4 千葉市立病院再整備基本構想の策定 に当たっては、市立病院としての使命と意義を十分に踏まえ、市民意見の聴取に、さまざまな手法を用いるなど、市民の意見が反映されるよう最大限努力されたい。

また、新病院の基本計画及び基本設計を行うに当たっては、市民が必要とする医療を提供できるよう、診療科の充実を検討するとともに、計画的に医師や看護職員などの専門的な人材の確保・育成にも努められたい。



5 文化芸術振興 については、本市初の大規模な芸術祭として「千の葉の芸術祭」が開催されるものの、市民の認知度が高いとは言えないことから、積極的な周知に努めるとともに、本芸術祭を一過性のものとせず、開催終了後も市民が文化芸術を身近に感じられるよう、効果的な施策展開を図られたい。

また、スポーツ振興については、新設される(仮称)千葉公園体育館が、周辺のスポーツ施設を集約し、防災拠点機能をも有する新たな市民スポーツの拠点として整備されることから、既存施設の利用者のみならず、多くの市民に対する周知に努めるとともに、より多くの市民がスポーツに親しむことができるよう取り組まれない。

6 森林等の安全対策 については、昨今の台風や大雨等による被害状況に鑑み、森林の整備を推進しているものの、森林面積に対して十分な対策が講じられているとは言い難いことから、国や県への要望も含め、あらゆる手段を検討し、一層の整備推進に尽力するとともに、市民の安全・安心の観点から、関係部局と連携した取り組みを講じられたい。



7 児童相談所 については、年々増加する児童虐待事案を初め、複雑多様化する課題に対して迅速かつ確かな対応が肝要であることから、引き続き、児童相談所職員の増員とともに、研修を通じて人材育成を行うなど、人員体制の充実強化に取り組むほか、今後のあり方については、児童相談所の複数体制を含めた本市における機能強化策についても、可及的速やかに検討を進められたい。

8 教育環境改善に係る各種専門職員 については、専科教員やスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い知識や技術を有する人材を活用することにより、教職員の負担軽減につながることはもとより、児童生徒に対する教育環境の質の向上が期待できることから、一層効果的な配置が可能となるよう、引き続き、各種専門職員の増員や育成に努められたい。



9 地域公共交通網形成計画の策定 に当たっては、コンパクトプラスネットワークの観点から各拠点の結節を強化することはもとより、交通不便地域等の実態と市民ニーズの把握を的確に捉えることに加え、交通事業者等と連携のもと、さまざまな移動手段の導入を検討するなど、本市にとって最適な交通体系の構築に取り組むとともに、早急に事業展開を図られたい。

10 災害対策としてのインフラ整備 に当たっては、近年、未曾有の災害が頻発していることに鑑みると、排水施設整備などを初めとした雨水対策の推進はもとより、急傾斜地崩壊対策についても、予防策に取り組むほか、国及び県に対しても積極的に要望を行うなど適切な対策を講じられたい。

また、倒木対策については、災害発生時に迅速に復旧対応が可能となるよう、関係部局はもとより、民間事業者とのさらなる連携強化に努め、施策展開に取り組まれない。

